

シロヘリハンミョウ *Callytron yuasai yuasai* (Nakane)

【選定理由】

海浜の岩場などに生息するが、カワラハンミョウと同様に生息地は狭められ、県内での生息情報が途絶えている。

【形態】

中型のハンミョウで斑紋は上翅側縁の細い白帯のみ。メスは上翅中央上部に鏡状の光沢のある円紋を持つ。

【分布の概要】

【県内の分布】

田原市(旧渥美町)(神谷, 1956)伊良湖岬(浅岡, 1987)、篠島(神谷, 1956)。いずれも海浜の岩場やその周辺に生息する。

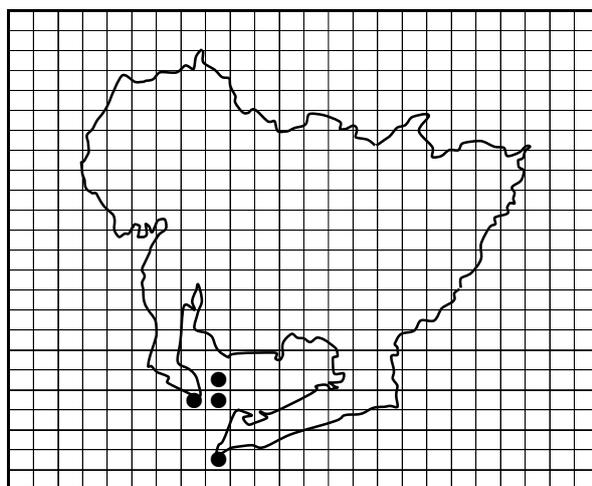
【国内の分布】

本州以南、沖縄までの各地。

【世界の分布】

朝鮮半島、中国、台湾、海南島、ベトナム。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

成虫は海浜の岩場やその周辺に見られる。県内の記録は乏しく生態的な知見は少ない。

【現在の生息状況／減少の要因】

かつては海岸部や島嶼に広く分布していたものと思われるが、個体数が少なく記録に乏しい。上記 2 地域についてはその後も調査されてはいるが追加の記録はない。伊良湖岬の沖合の神島(三重県)では現在も生息が確認されている(長谷川・桜丘高等学校生物部, 2014)。

【保全上の留意点】

県内の生息状況の詳しい調査が必要である。海浜への車の乗り入れを慎むなど砂浜環境の保全対策が必要である。

【引用文献】

- 浅岡孝知, 1987. シロヘリハンミョウ伊良湖岬に産す. 三河の昆虫, 34: 229.
神谷一男, 1956. 南知多・渥美・蒲郡地方に産する昆虫類. 三河湾自然公園調査報告書: 50-61.
大平仁夫, 1973. 採集されなくなった三河の甲虫 2 種. 三河の昆虫, 4: 15.
長谷川道明・桜丘高等学校生物部, 2014. 神島で確認されたシロヘリハンミョウ. 豊橋市自然史博物館研究報告 (24): 31-32.

【関連文献】

- 岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類. 愛知県の昆虫, (上): 309-338. 愛知県.
戸田尚希・長谷川道明・蟹江 昇, 2019. 愛知県の甲虫目録 3. 佳香蝶, 71 (277): 1-11.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)